

次の定例会は **3月** です



横澤 禎二 先生
(蚕桑地区)

わたしが、話し相手になります。

シリーズ まちのドクター先生！
みんなを元気に！

新シリーズの3回目
は横浜医院の横澤禎二先生です。

プロフィール

東 邦大学医学部卒業後、大学の研究室に勤務。その後、横須賀の刑務所の医者として勤務しました。

平成元年に紺野町長の強い要請により、白鷹町立病院に勤務。平成6年に現在の場所で開催し、23年目となります。

医師になるきっかけ

祖母が東邦大学医学部の前身の帝国女子医学専門学校出身で、開業医だったため、その影響からです。

専門はなんですか

消化器内科です。
(食道・胃・腸など)

気になること

白鷹町には胃がんの患者が非常に多くいます。胃がんの原因の99パーセントがピロリ菌であり、若い時に検査する機会を作ればと考えます。

心掛けていること

白鷹町では高齢者世帯の方が多くいます。まずは患者さんの話を聞き、話し相手になりながら患者さんの病気を見つめるようにしています。

これからの白鷹町の医療体制について

開業医のみならずも高齢化してきている地域に密着した形の医療のあり方が大事です。若い医者の方々の中にも、地方での開業を考えている人もいます。

町へ望むこと

川西地区、川東地区の格差が拡大していると感じている方が多い。バランス良く、格差のない、生活しやすい地域にしていきたいです。
介護や医療関係の職員の方々の意見を多く聞き、問題解決の推進のための議員活動も望みます。

取材を終えて

白鷹町立病院と開業医さんが連携し、町民の健康や、病気の早期発見のため、大切な役割を担っていることをあらためて学びました。



お手持ちのパソコンやスマホ等で議会中継をご覧ください。録画でもご覧いただけます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局までお寄せください。

編集後記

▼今期は例年になく早い降雪となりましたが、12月定例会には、足元の悪い中、多くの傍聴の方がおいでになりました。

議事の内容が皆様に伝わるよう、できるだけ簡潔に、わかりやすい言葉使いを心掛けなければならぬと、あらためて感じました。

▼アンケート葉書を添付いたしました。

議会に対する、または『議会だより』を読みながらのご意見、ご感想を気軽に聞かせください。皆様の声を参考に、より気軽に読める『議会だより』となるよう、広報委員一同努めてまいります。
(佐々木)

広報委員

- 委員長 奥山 勝吉
- 副委員長・編集長 佐々木 誠司
- 委員 石川 重二
- 委員 笹原 俊一
- 委員 渡部 善美
- 印刷・梅津印刷

